

# 原発をなくす全国連絡会 ニュース



原発をなくす全国連絡会

〒113-8465東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

E-mail: [no-nukes@min-iren.gr.jp](mailto:no-nukes@min-iren.gr.jp)HP: <https://www.no-genpatu.jp>

原発をなくす全国連絡会

## 地震大国に 原発いらない! 3.9原発ゼロ新宿パレード

東京電力福島第一原発事故から間もなく13年となる、3月9日に原発をなくす全国連絡会は、原発ゼロを求める新宿パレードを行い、約400人が参加しました。

出発集会で、全日本民医連事務局長の岸本さんは、「地震大国の**日本に原発を動かせる場所はどこにもない、それが能登半島地震の教訓**。いますぐすべての原発を廃炉にするように声を上げて求めよう」「漁業者との約束を破り、福島県民と国民、諸外国からの声を踏みにじて強行されたALPS処理水の海洋放出もただちに中止させよう。」と主催者あいさつを行いました。

日本共産党衆議院議員の笠井さんは、「数万人の方々がふるさとに帰れず避難を余儀なくされ、生活と生業が奪われている。今も原発の被害は続いている。」「**過酷事故が起こればたくさんの人生が狂われ、地域社会が崩壊する。原発は日本社会と共存できない**。原発ゼロ実現に決意を固めよう！」と呼びかけました。

今回は、福島から16人が参加。福島からの参加者を代表して、ふくしま復興共同センター代表委員の野木さんが発言しました。野木さんは、「事故から13年が経つ今でも、原発廃炉の見通しが立っていない。時間が経つにつれ廃炉の困難は増している。2051年までに廃炉をめざす東電の計画は見直しが必要だ」と訴えました。また、ALPS処理水の海洋放出について「国と東電は30年で放出を終わらせるというが、新たな汚染水の発生を抑える抜本的な対策されなければ70年かかる」と強調しました。さいごに、「**原発事故は日本のどこであれ、再び起こしてはいけない。だからこそ岸田政権の原発推進政策への転換は許せない**。福島第一原発事故の最大の教訓は、原発は直ちにゼロにすることだ」と訴えました。

北海道からも若者2人が参加。藤野さんは、「北海道は、泊原発や、核のごみ処分場調査といった原発問題を抱えている。福島そして全国のみなさんと一緒に頑張りたい」と決意を述べました。

その後、代々木二丁目あおい公園から、新宿駅近くの四季の路まで約400人でパレードを行いました。パレード参加者は、「**日本のどこにも原発いらない**」「**すべての原発今すぐ廃炉**」「**原発ゼロの未来をつくらう**」と声を上げ、原発ゼロをアピールして歩きました。

土曜の昼間ということで新宿は大変な人出でした。たくさんの市民に原発ゼロを求める声を届けることができました。ご参加ありがとうございました！



福島の参加者



パレードで市民にアピール



北海道の参加者

(写真はすべて民医連新聞提供)

連続学習会のご案内

6.17最高裁判決がもたらした問題点と今後の課題

日時

2024年4月3日(水) 17:00~18:15

講師

寺西俊一さん

ノーモア原発公害市民連絡会 代表世話人

場所

全日本民医連8F会議室&amp;オンライン

zoom⇒ <https://x.gd/ZXPcy> ID:881 7341 1200 パスコード:nonukes